

中期目標計画報告 2020 年度～2024 年度

本校は、建学の精神と教育理念に基づき、時代のリーダーとなる学生を育成、専門分野の人材育成、自己伸長・自己実現に取り組むことのできる人材を育成している。

2020 年に 5 か年計画を打ち出し高い目標を掲げた。現在もその目標に向かうことへの変更はないが、少子化の影響や大学を含めた競争下において、生産性の低下や市場の縮小といった影響も避けられない。

この厳しい環境の中でまずは「生き残っていく」「並行して何かを行う」を主として改革を実施していくため、2024 年までは、IT と電気を完全に分離した教育を実施してきたが、現社会にある多くの機器は、ハードウェアとソフトウェア、両者（相互補完的で、かつ並行的進化）が無くては存在しない世界となっていることから、ふたつの分野を統合し、新たな学科を編成し募集を開始した。

1. 生き残るための基本方針

現状維持からの脱却：変化を恐れず、新しいモデルやサービスを積極的に導入。

資源の最適化：人材や財務資源を有効活用し、効率的な運営体制を構築。

地域との連携強化：地域社会との協力を通じて、共存共栄の基盤を確立。

2. 中期目標

人材の確保と育成

働きやすい環境の整備：柔軟な勤務制度の導入。

生産性の向上と業務効率化

デジタル化の推進：AI・IoT 技術の導入による業務の自動化と効率化。

スキルアップ支援：教員のリスキリング・アップスキリングを支援。

新たな市場の開拓と顧客基盤の強化

市場の開拓：少子高齢化社会を見据えた成長機会を追求。

3. 成果指標とモニタリング

KPI の設定：採用率、生産性、売上高、満足度などを定量的に評価。

PDCA サイクルの徹底：計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Act）を継続的に実施。